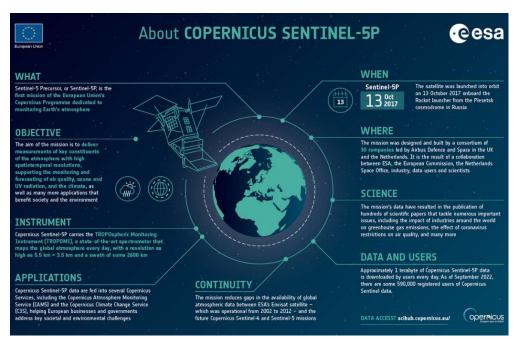
①発表番号	②セッション	③セッション名	1/3
5-2	セッション5	地球観測ミッション	
④発表タイトル			⑤発表者所属・氏名
衛星データから強化学習を通して、	公衆衛生政策を数理最適化する		株式会社オープンソシオ 山口 章
⑥著者	⑦所属	8代表者メールアドレス	⑨現在の状況:
山口章	株式会社オープンソシオ		開発済
⑩概要(200字程度)	•	⑪本ミッションの狙い	⑫実現のキーとなる要素技術
本ミッションの概要としては、新型コロナのような疾患の発生を6ヶ月前に予測し、政府機関/企業/一般の人々に精度の高い長期予測と業務予測シミュレーションを提供することです。具体的には、疾患データそのものの解析および大気汚染との相関を考慮した教師データの生成、その教師データを活用することによる精度の高い予測とシュミレーション実施、そして数理最適化された実装戦略を行うことです。			わせ解析を用いた教師データ、予測 モデル構築 ・数理最適化、量子アニーリングに よる ・強化学習(シミュレーション)
③本ミッションを達成するために必要な衛星のスペック・機能・軌道		・ ・ ・ ・ 計画	
Sentinel-5 precursorのような、疾患発生予測に必要な高精度な地上および大気データを日次でグローバルに収集できる能力が必要。(高解像度の画像撮影、大気成分分析能力などが含まれる)			

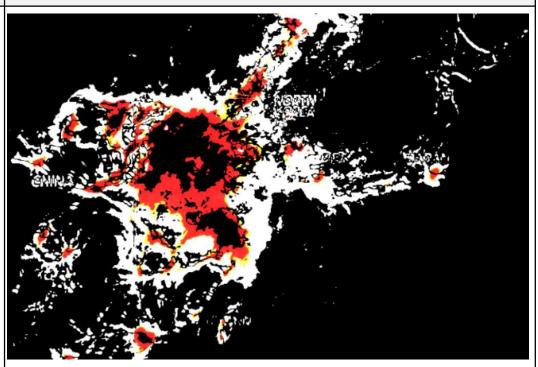
15衛星のイメージ図

⑯ミッションのイメージ図(※あれば)

Sentinel-5 precursor

https://sentinels.copernicus.eu/web/sentinel/missions/sentinel-5p





5-2 2/3ページ

(7)ミッションや技術詳細

本ミッションは、衛星データと地上データを組み合わせた予測モデルと数理最適化(QUBO)および強化学習による業務シミュレーション、実装戦略の最適化を核としています。衛星と地上のデータを統合して疾患発生や拡大、医薬品需要を予測し、そこから生成した精度の高い教師データによるシミュレーションにより、業務の最適化を行います。具体的には、新型コロナとそれ以外に東京でここ10年以内に100人以上陽性者が発生した疾患との相関調査。その疾患感染に関して、基本的なSIRモデル(感受性者-感染者-回復者モデル)を用いて、感染症拡散パターンをモデル化。そして、異なる公衆衛生政策(例:社会的距離の確保)が感染拡散に与える影響をシュミレーションしています。昨年度 超小型衛星利用シンポジウム2023 4-1 衛星データから新型コロナ陽性者を予測する で発表内容の経過発表となります。

⑱参考文献など(optional)

気象庁 気象ビジネス推進コンソーシアム(7/14提出)

https://www.wxbc.jp/mypage/business_wg-page/20230724_bizwg25/

自治医科大学 第27回川崎病全国調查 報告書 P5

https://www.jichi.ac.jp/dph/wp-dph/wp-content/uploads/2023/09/3aed51a15e14397c8ba83d470df0226f.pdf

|感染病の数学予測モデル(SIRモデル)

https://www.tomomi-research.com/archives/336

5-2 3/3ページ